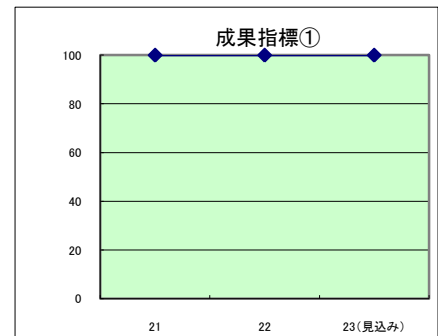
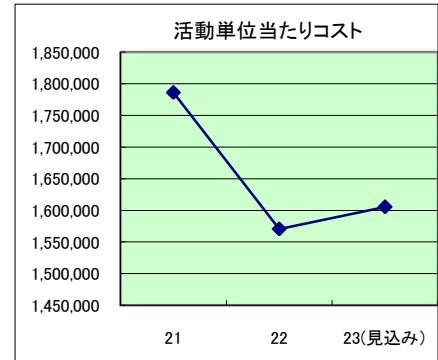


総合基本計画	事務事業名	史跡等管理事業		予算科目	会計	1	一般会計	
	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち		款	10	教育費	
					項	5	社会教育費	
					目	4	文化財保存事業費	
					事業	9	史跡等管理	
施策(節)	5	市民文化・芸術	作成部署	教育委員会事務局生涯学習室社会教育課(歴史文化推進室)				
施策の方向	(1)	歴史的資源を活かしたまちづくりの推進						
関連する計画等				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4480			
事業の目的	対象(誰を・何を)			史跡地				
	意図(どういう状態にしたいのか)			適切に管理、保存し公開していく。				
	事業の内容			国の指定史跡地の維持管理及び除草、清掃に関する経費(応神天皇陵古墳外濠-12,633㎡、峯ヶ塚古墳-1,672㎡、墓山古墳-3,140㎡、観音塚古墳-1,740㎡、菅田白鳥埴輪製作遺跡-700㎡、通法寺跡-6,107㎡)				
根拠法令等		文化財保護法						
事業開始時期		☐ 昭和 年開始 ☒ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度			平成 年度	
事業開始時からの状況変化								
市民や議会の要望								
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(シルバー人材センター)		委託内容 除草				
		☐ 民間委託 ☐ その他						

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】		(千円) 5,079	5,089	5,334	
人件費【2】		(千円) 7,425	5,904	5,904	
職員数	正規職員	0.99 人	0.82 人	0.82 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	超過勤務(参考)	(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】		(千円) 12,504	10,993	11,238	
財源内訳	国費	(千円) 246	246	246	
	府費	(千円)			
	市債	(千円)			
	その他 (手数料・使用料等)	(千円)			
	一般財源	(千円) 12,258	10,747	10,992	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 史跡管理件数		件	7	7	7
②					
③					
活動単位当たりコスト(【A】／【B】①)			1,786,286 円	1,570,429 円	1,605,429 円
市民1人当たりコスト(【A】／人口)			105 円	93 円	95 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	適正管理率	%	史跡管理状況を把握する。	目標	100	100	達成率(%)	100
		(式) 史跡管理件数÷維持管理件数×100			実績	100	100	100.0%	
	②				目標			達成率(%)	
		(式)			実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	法令に基づき、買収、管理、維持管理を行っている。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	法令に基づき、史跡地の管理、維持、補修等を行っていかなければならない。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☒	☐	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	委託料の削減を行い、効率良く業務を行っている。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	史跡地を適正に管理、保存し、公開することは、文化財を保護活用するうえで欠かせない。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☐	☒	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	市民の要望については一定反映されている。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	適正な管理を行っている。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	法令に基づき買収、管理、維持補修を行っている。また、一部であるが、史跡公園として市民に開放しており、憩いの場として親しまれている。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	史跡地について、適正かつ効率良く管理を進めていく。	
行 革 本 部 評 価	総合評価	
	評価理由・意見	
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了	